

2021年（令和3年）第40回「千石会役員会記」

千石会創設40周年となる第40回千石会総会・懇親会は昨年につき、新型コロナウイルス感染症防止のため中止になりましたので、総会記の代わりとして役員会の議事録を報告します。

令和3年度 千石会役員会記録

日 時：令和3年7月30日(金) 14:00 ～ 16:30

場 所：本部棟301会議室

出席者：楠本顧問、徳永顧問、竹村会長、藤井副会長、松本副会長、林総務事、遠山会計幹事、今井監査幹事、三井、中島、岩川、玉置の各協議員

欠席者：津島協議員

1. 千石会の日程について

竹村会長から本年度の総会・懇親会の日程について資料1-①、②により説明があり、後ほど審議されるが平成3年総会・懇親会を中止とした場合の日程及び総会・懇親会開催時期について議論した。開催時期については再度総務課と日程調整して決定するという事になった。なお、調整結果については、竹村会長から各役員に別途メールにて通知することとした。

(追記)

総務課と日程調整を行なった結果、「次回からの開催は10月下旬の第4金曜日を定例とするが、当該日に大学の他の重要行事が予定される場合等は、都度調整ということで変更の可能性もあるので、その場合の実施日は執行部に一任する。」とした。

2. 会員の異動について

竹村会長から資料2-①、②に基づき、会員の増減状況及び物故者、退会希望者、任意退会者について報告があり、会員の減少化が進んでいる旨の報告があった。

3. 会員の減少対策について

竹村会長から、今年3月の定年退職者並びに4月の新規賛助会員資格者に対して8月中に「千石会入会のお願い」を通知する。役員の方には会員の減少対策として、知合いの先輩・後輩の勧誘をお願いしたい旨要請があった。

4. 千石会ホームページの管理について

藤井副会長からホームページ管理について、現在楠本顧問と藤井副会長で行っているが、新規で森川氏に依頼し了承を得たが、役員になることについては辞退されたとの報告があった。

なお、楠本顧問には任期終了後においても引き続き管理者として協力をお願いすることとし、ご本人にも了承を得た。

5. 40周年記念事業(記念史発行)の進捗について

楠本編集長から資料3に基づき説明があり、当初40万円(記念史20万円、記念品20万円)を予定していたが、記念史のページ数が増加し30万円程度となる旨の報告があった。藤井40周年企画委員長から、記念品を6～7万円程度で実施可能との報告があり、記念史の仕上がりの後、企画委員長に一任することで了承を得た。楠本編集長から前回までは「千石会創設40周年記念誌」としていたが「大阪大学千石会40年史」と改めるとの説明があった。

(追記)

「40年史」をPR活動の資料とするため、記念品を取りやめ、「40年史」を増刷することとした。

6. 千石会の口座名義等の訂正について

竹村会長から千石会のゆうちょ銀行口座名並びに払込取扱票の加入者名について、郵便局から口座名義(阪大千石会)と千石会会則(大阪大学千石会)が相違しているとの指摘があったため、「阪大千石会」から「大阪大学千石会」に訂正することで了承を得た。

7. 千石会収支決算報告書

遠山会計幹事から資料5に基づき令和2年度の収支について説明があり、その後、今井監査幹事から監査結果について正確妥当であることを確認した旨報告があり、審議の結果承認された。

楠本顧問から、千石会収入は会員が郵便局から払込取扱票で払込む会費である。コンビニが増えているのでコンビニ振込ができれば会員の手間が減り、3年間会費未納で退会する会員が減るのでは無いかとの意見があり、手数料・仕組みなどを調べることにした。

(追記)

郵便局で問い合わせた結果、コンビニ支払いは千石会と払込代行業者との契約が必要で、現状の郵便局払込依頼票による手数料が高額になることが判明したので、従来とおりにする。

8. 千石会会則の一部改正案について

竹村会長から資料6に基づき前回のメール役員会で「顧問の任期は1期2年とする」ことを申合せ事項としたが、これを会則の一部改正としてはどうかとの説明があった。種々意見交換されたが、今回はとりあえずペンディングとした。

(追記)

その後、役員で協議し、会則の一部改正（第8条4項）とした。

9. 第40回千石会総会・懇親会の開催の可否について

竹村会長から資料7に基づき説明があり、コロナウィルス感染症の収束が見通せないことから、今年度の総会・懇親会は中止することとした。

10. 役員人事について

竹村会長から任期が切れる会長等の後任について、努力を尽くしたが内諾が得られない。また新規協議員の打診についても全て断られた。任期終了で役員を辞退することを表明されている役員もあり、このままでは役員会として成り立たない。コロナ禍で総会・懇親会が中止となったことでもあり、できれば1年間役員の任期延長をお願いしたいとの説明が資料8に基づきあった。1名を除いて任期延長が了承された。役員のなり手が無いことに対して、一人一人意見を聴衆した。知り合いに千石会入会の話をして入会する意思は無いという返事が多い。会員に協議員になって欲しいと話をもち掛けたら千石会会員を辞めると言われてそれ以上話しができない。千石会のあり方を根本的に見直すべき。役員をやってもいいという会員がいれば、75歳以上でもいいのではないか。文教ニュースにも他大学様子が掲載されていることがある。他大学はどうしているのか調査してはどうか。名誉教授会のように総務課が事務全般に関わるような交渉はできないのか。種々意見交換がなされたが、結論には至らず何か解決策があれば会長あて連絡いただきたい。今年1年で協議員5名を新規に確保できなければ、千石会の役員会が成立しなくなるので、役員一同で努力して当たることとした。